

日帰り温浴施設専門の運営会社

大規模な温浴施設の運営会社は以前から存在するが、人口の比較的少ない郊外立地で年間売上高3億円以下の日帰り温泉の再生に特化した会社がある。2011年3月に設立された温泉道場(埼玉県ときがわ町)だ。同社を率いる山崎寿樹社長は、船井総合研究所の日帰り温泉専門のコンサルティングチームに在籍。小資本で売り上げを上げるノウハウを駆使し、現場での陣頭指揮に当たる。

同社が手掛けた「白寿の湯」(埼玉県神川町)の13年3月期の売り上げは対前年で115%を達成した。営業利益率も10%程度の改善に成功。ハード面で劣る施設について、徹底したマーケティングと差別化を行い、小規模リニューアルの継続で、集客力を高めた。白寿の湯に続き、10月には3店舗目となる運営施設「おふろcafe uta tane(うたたね)」



山崎寿樹社長

温泉道場 再生事例次々と生み出す

(さいたま市)をオープンする。これは、昨年10月に閉店した大宮大成鉄道村にあった温浴施設。ジェイアル東日本都市開発の直営店舗を運営受託することになった。再生にあたってはコンセプトを転換し、カフェ機能を大幅にアップさせる。女性客をメインに取り組んでいく計画という。

同社が得意とするマーケティング手法は、例えば、今まで非日常を売りにしている日帰り温泉とは正反対の日常感を売りにした営業戦略を展開、「社員全員アイドル化」など社員の個性を引き立たせるようなキーワードをもとに社員のキャラクターを前面に出すようなイベントを行う。社員による歌謡ショーや、プロレス、踊り、トークショーなど手作り感満載で他店舗とは一線を画している斬新なイベントも特徴だ。

山崎社長は「今後も、温浴施設の運営会社として、不採算店舗の再生事業を展開する」と話す。

この件についての問い合わせ先は、温泉道場(湯郷玉川温泉内) ☎0493(65)4977。